

第3回 篠原中学校 学校運営協議会

式次第

1. 会長あいさつ
2. 校長あいさつ
3. 議長選出（一輝）
4. 前回会議録確認（議長）
5. 熟議
 - (1) 学校関係者評価
 - ・ 学校運営に関する評価（小嶋）
 - ・ 学校いじめ防止基本方針に基づく評価（桔川）
 - ・ 令和8年度学校運営基本方針の提案（校長）と検討
 - (2) 学校運営協議会自己評価と来年度の目標検討
6. 報告（教頭）
 - ・ 夢育やらまいか事業
 - ・ 来年度の学校運営協議委員
7. 連絡（一輝）
 - ・ 学校運営協議会委員研修会 2月25日（水）14:00～15:30

MEMO

日時：令和8年1月26日（月）

場所：篠原中学校 多目的室

令和7年度 第2回 篠原中学校学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年11月10日(月) 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 篠原中学校 多目的室
- 3 出席委員 鈴木 幹夫、太田 一夫、河合 洋子、鈴木 幸子、津田 順子、鈴木 好治、
鈴木 登志雄、鈴木 貴子
- 4 欠席委員 横井 詠子
- 5 オブザーバー 小笠原 正幸（篠原協働センター長）
- 6 学 校 内山 安史（校長）、太田 陽三（教頭）、鈴木 一輝（CS担当教員）、
桔川 祐輝（生徒指導担当教員）、小嶋 慶（教務主任）、
村松 佳寿子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 山本 俊行（学校・地域連携課）
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 村松 佳寿子

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、太田委員が、本日の議長を務める事を申し出、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

(1) 学校評価アンケートについて

- ・グランドデザインの達成度をはかるための「評価項目」が適切か

(2) 校則改正の必要性について

- ・生徒が「自己指導力」を身に付けるために、ふさわしい内容や入れた方がいい内容はあるか
- ・靴の色の自由化を例に、校則を変えていくことが地域の目にはどのように映るか

12 会議記録

司会の鈴木一輝から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

委員に学校の様子を知ってもらうため、各クラスの授業を参観。その後、多目的室に戻って協議。

(1) 学校評価アンケート

議長の指示により、教務主任の小嶋から、資料に基づき学校評価アンケートについて説明があった。その後、2グループに分かれて協議。委員からは以下の発言があった。

【Aグループ：鈴木幹夫会長、鈴木幸子委員、鈴木登志雄委員、鈴木貴子委員】

・アンケートは有意義なものだと思う。アンケートの際に添付されるグランドデザインは、目を通さなくてもアンケートの答えられてしまうので、保護者のグランドデザインへの理解が深まらない懸念がある。

【Bグループ：太田委員、河合委員、津田委員、鈴木好治委員】

- ・アンケートとグランドデザインを結びつけるのは難しいのではないかと思った。
- ・キャリア教育の内容がすべての保護者に周知されているとは思えないが、このアンケートを行うことで1年に1回でも、保護者にキャリア教育について認識してもらう良い機会になると思う。
- ・コミュニティスクールのことを認識していない保護者もいると思うが、アンケートをきっかけに再認識してもらえると良い。
- ・アンケートによって、学校への関心が高まり、学校を知るきっかけや親子で話すきっかけになると思う。

(2) 校則改正の必要性について

生徒指導担当の桔川から、資料に基づき校則改正の必要性について生徒協議会での意見や熟議の視点について説明があった。その後、先程と同じグループに分かれて協議、委員からは以下の発言があった。

【Aグループ】

- ・生徒達が納得できる内容になっているか。自分たちがこうすることで周りからどう思われるか、自己責任であり、その点に関しては、事前に学校側からも指導して欲しい。
- ・体育の授業で自分のパフォーマンスを発揮できるものか、本人が理解したうえで変えていくことが大事。地域の年配の方は、すぐには受け入れられないことも考えられる。
- ・保護者側としては、経済的な事も考えて、親の意向も聞いて欲しい。

【Bグループ】

- ・靴の色はある程度決まっていた方が、学校・生徒・保護者の三者ともやりやすいと思う。何でもありでは、納まりがつかなくなるのではないか。
- ・家庭の経済力によって差別が生じてしまうことがあってはならない。色や価格帯の目安があった方が良いのではないか。
- ・何でも自由になってしまうと、通学路で地域の方が小学生と中学生の見分けがつきにくくなってしまわないか。

その他報告事項等

- ・教頭から、部活動の地域展開についての現状報告があった。
- ・3年学年主任の山下から、1月と2月に行なう面接練習のご協力依頼があった。
- ・司会から、次回会議は、令和8年1月26日(月)13時30分から多目的室で開催する旨の報告があった。

学校運営協議会 グループ協議用紙 (熟議Ⅰ)

①学校運営やいじめ防止に関する取り組みについて

MEMO

②今年の評価を踏まえた令和8年度に向けての目標

MEMO



CONNECT
CHALLENGE
CREATE

第3回 篠原中学校 学校運営協議会 協議グループ

	氏名	ふりがな	備考
A	鈴木 幹夫	すずき みきお	保護司
	鈴木 好治	すずき よしじ	R3・4連合自治会長
	横井 瑛子	よこい えいこ	R6PTA役員
	鈴木 登志雄	すずき としお	R5地区自治会長
B	津田 順子	つだ じゅんこ	主任児童委員
	河合 洋子	かわい ようこ	学校支援コーディネーター
			R2篠原中学校PTA会長
C	太田 一夫	おおた かずお	R2篠原地区自治会連合会会長
	鈴木 幸子	すずき ゆきこ	R5篠原地区健全育成会会長
	鈴木 貴子	すずき たかこ	R7PTA役員

	氏名	ふりがな	備考
	内山 安史	うちやま やすひと	浜松市立篠原中学校校長
	太田 陽三	おおた ようぞう	浜松市立篠原中学校教頭
	小嶋 慶	こじま けい	浜松市立篠原中学校教務主任
	鈴木 一輝	すずき かずき	R7CS担当
	桔川 祐輝	きつかわ ゆうき	生徒指導主事 R6CS担当
	村松 佳寿子	むらまつ かずこ	CSディレクター

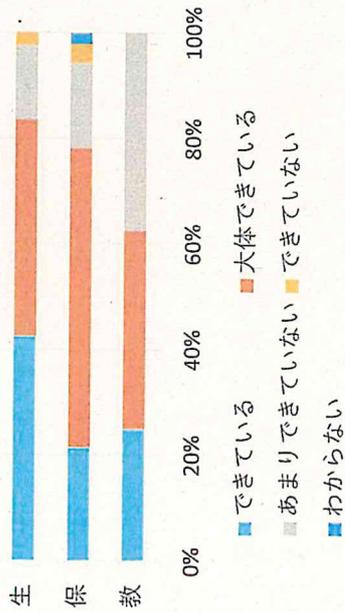
令和7年度 学校評価アンケート結果

①	②	③
<p>生1 あなたは、学校生活を楽しいと感じている。</p> <p>保2 お子さんは、学校生活を楽しいと感じている。</p> <p>教1 生徒は、学校生活を楽しいと感じている。</p>	<p>生2 あなたは、学校での授業内容を理解し、その内容を身に付けていますか。</p> <p>保3 お子さんは、学校での授業を通して、家庭で満足できる学力を身に付けている。</p> <p>教2 生徒は、学校での授業内容を理解し、その内容を身に付けている。</p>	<p>生3 先生は、わからないところや質問を丁寧に教えてくれますか。</p> <p>教3 生徒は、学校での授業内容を理解し、その内容を身に付けている。</p> <p>教4 あなたは、個に応じた支援を行っている。</p>
<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ できている ■ 大体できている ■ あまりできていない ■ できていない ■ わからない</p>	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ できている ■ 大体できている ■ あまりできていない ■ できていない ■ わからない</p>	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ できている ■ 大体できている ■ あまりできていない ■ できていない ■ わからない</p>
<p>生4 あなたは、先生や級友の話をよく聞き、授業内容の理解を深めていますか。</p> <p>教5 生徒は、先生や級友の話をよく聞き、授業内容の理解を深めている。</p>	<p>生5 あなたは、自分の意見や考えを相手に伝えるように発表、表現していますか。</p> <p>教6 生徒は、自分の意見や考えが相手に伝わるように発表、表現している。</p>	<p>生6 あなたは、家で宿題以外の勉強をしていますか。</p> <p>保4 お子さんは、家庭で宿題以外の学習にも取り組んでいる。</p> <p>教7 生徒は、家で宿題以外の勉強をしていると思う。</p>
<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ できている ■ 大体できている ■ あまりできていない ■ できていない ■ わからない</p>	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ できている ■ 大体できている ■ あまりできていない ■ できていない ■ わからない</p>	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ できている ■ 大体できている ■ あまりできていない ■ できていない ■ わからない</p>

57

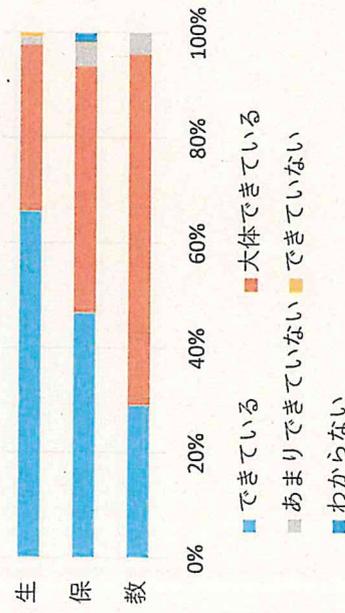
7

生7 あなたは、さわやかなあいさつができていますか。
 保5 お子さんは、さわやかにあいさつをしている。
 教8 生徒は、さわやかなあいさつをしている。



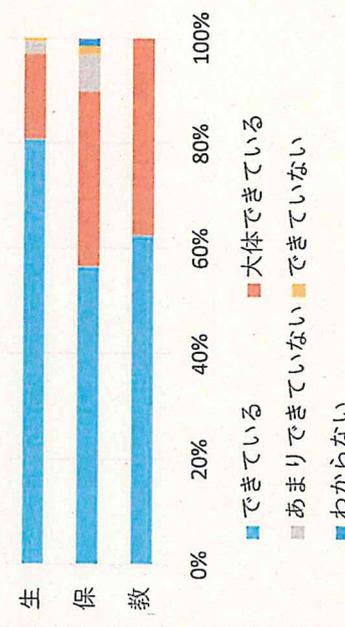
8

生8 あなたは、学校の決まりを守っていますか。
 保6 お子さんは、学校の決まりを守っている。
 教9 生徒は、学校の決まりを守っている。



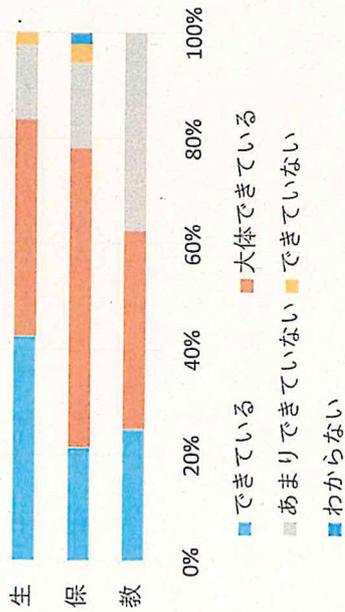
9

生9 あなたは、体育大会や芸術祭などの行事を通して、仲間とともに活動する楽しさやうれしさを覚えていますか。
 保7 お子さんは、体育大会や芸術祭の行事を通して、仲間とともに活動する楽しさやうれしさを覚えている。
 教10 生徒は、体育大会や芸術祭などの行事を通して、仲間とともに活動する楽しさやうれしさを覚えている。



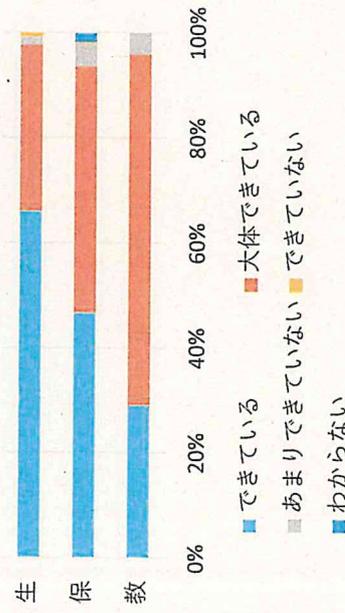
10

生10 あなたは、MVGに向けた縦割り活動を通して、充実感を感じていますか。
 保8 お子さんは、MVGに向けた縦割り活動を通して、集団に所属する充実感を感じている。
 教11 生徒は、MVGに向けた縦割り活動を通して、充実感を感じている。



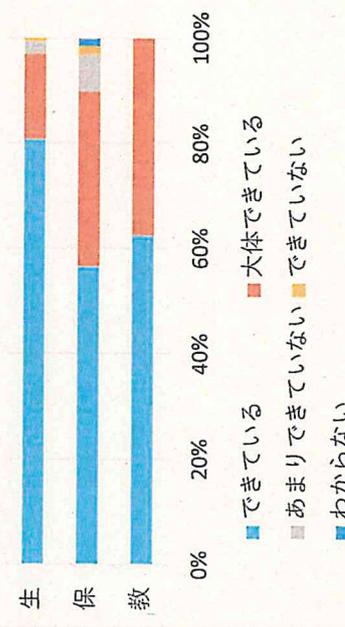
11

生11 あなたは、学級での役割(委員、係、当番、清掃など)に進んで取り組んでいますか。
 教12 生徒は、学級での役割(委員、係、当番、清掃など)に進んで取り組んでいる。



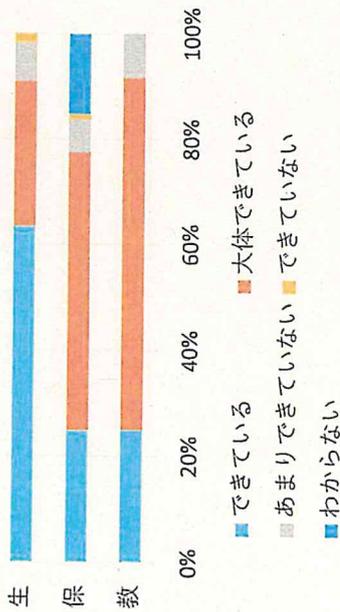
12

生12 あなたは、学校や学級で互いの良さを認め合ったり、支え合ったりして活動していますか。
 教13 生徒は、互いの良さを認め合ったり、支え合ったりして活動している。



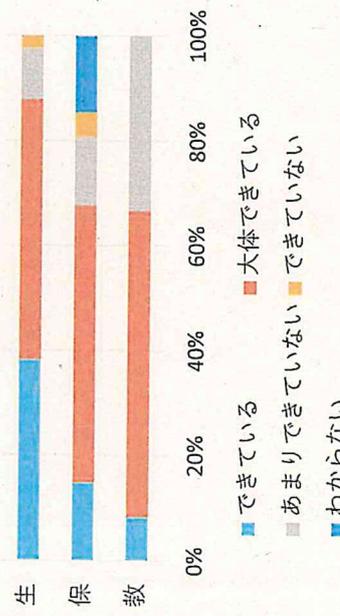
13

生13 あなたは、悩みを相談できる相手がいいますか。
 保9 学校は、悩みがあった時、相談できる体制になっている。
 教14 あなたは、生徒や保護者の話をよく聴いている。



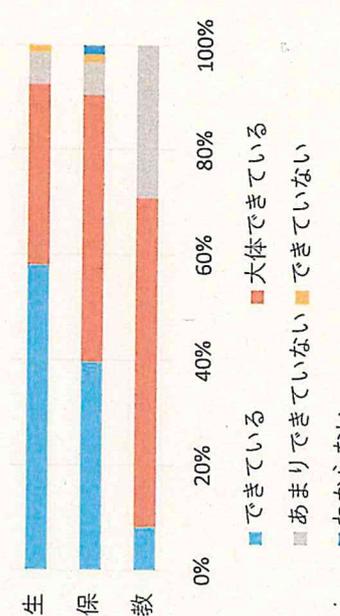
14

生14 あなたは、学校で活動するとき、キャリア教育の4つの力を意識して活動していますか。
 保10 お子さんは、キャリア教育の4つの力を意識して学校生活を送っている。
 教15 生徒は、キャリア教育の4つの力を意識して学校生活を送っている。



15

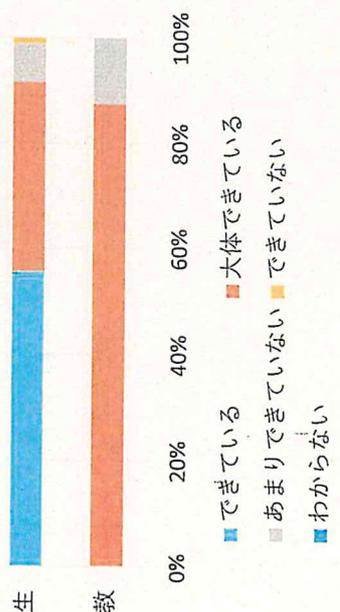
生15 あなたは、4月の自分と比較して、キャリア教育の4つの力が一つでも身についたと感じますか。
 保11 学校での様々な活動において、お子さんの成長を実感している。
 教16 生徒は、4月と比較して、キャリア教育の4つの力が身につけてきている。



7

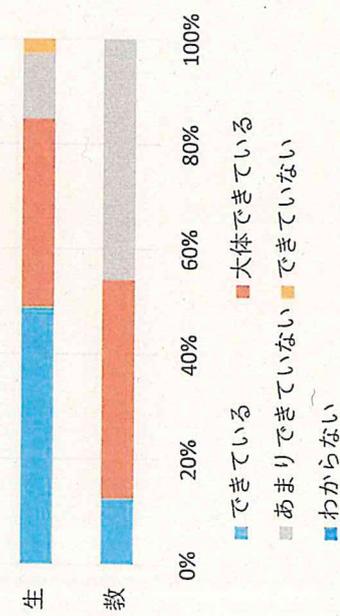
16

生16 あなたは、自分が決めたことは最後までやり遂げようとしていますか。
 教17 生徒は、自分で決めたことは最後までやり遂げるようにしている。



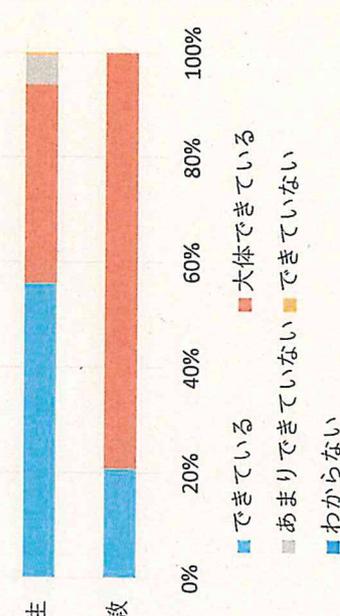
17

生17 あなたは、自分に良いところがあると思いますか。
 教18 自己肯定感の高い生徒が多い。

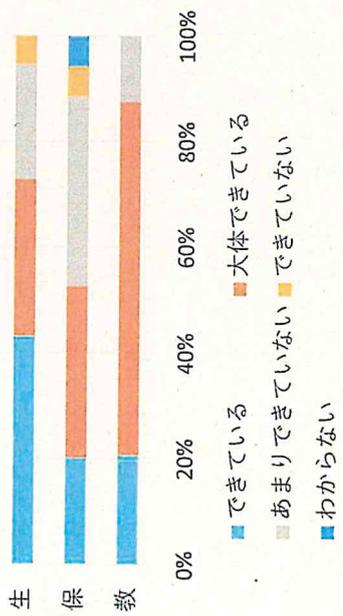


18

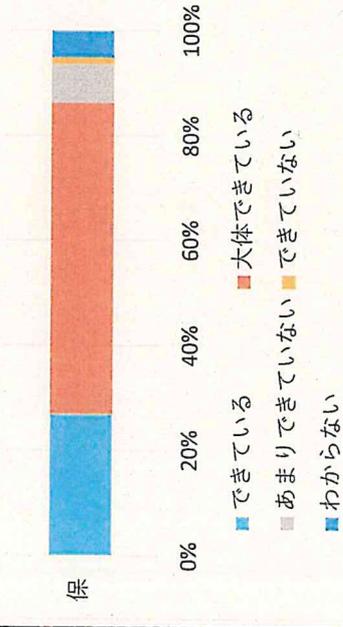
生18 先生は、あなたの良さを認めてくれますか。
 教19 あなたは、子ども一人一人の良い点や可能性を見つけ、子どもに伝えている。



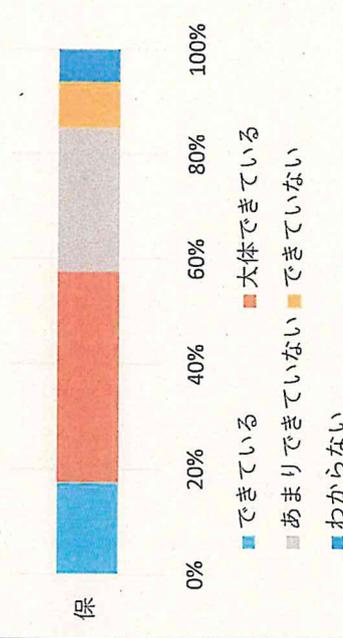
生19 あなたは、将来の夢や目標をもっていますか。
 保12 お子さん、将来の夢や目標をもっている。
 教20 あなたは、生徒に将来の夢や目標をもたせるように指導している。



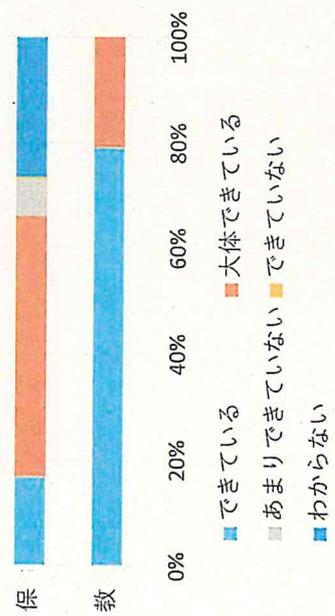
保13 学校は、便りやホームページ、ブログなどを通して学校の情報を発信している。



保14 篠原中は学校運営協議会(コミュニティ・スクール)を設けており、地域とともに特色ある学校づくりを進めようとしていることを知っている。



保15 学校は、いじめの未然防止や早期発見、いじめが発生した際の迅速な対応に努めている。
 教21 学校は、いじめの未然防止や早期発見、いじめが発生した際の迅速な対応に努めている。



学 校 経 営 方 針

1 第4次浜松市教育総合計画

<目指すこどもの姿>

- 自分らしさを大切にすることも
- 他者と協調し、主体的に行動できるこども
- 自己調整しながら粘り強く取り組むこども

<キーワード>

- ①主体性 ②多様性・包摂（ほうせつ）性 ③信頼・協調

2 篠原中学校区の目指す子供像

「共生と自立」

- 自信と活力にあふれ、進んで学びを求めていく子供
- 家庭や地域に愛着をもち、かかわりを大切にできる子供

3 学校教育目標

「共に理想を追求し、自己実現をめざす生徒」

<達成のためのキーワード>

「共生」と「自立」

① 「共生」 できる生徒

- ・ 集団を客観的に見つめ、互いを受け入れ、互いの良さを認め合う
- ・ 他者と積極的にかかわり、支え合って活動する
- ・ 他者に貢献できる自分の良さや立ち位置を自覚する
- ・ 郷土を愛し、地域に貢献しようとする

② 「自立」 した生徒

- ・ 自己の生き方・在り方を考え、将来の見通しを立てる
- ・ 明確な目標をもち、その達成に向けて努力を継続する
- ・ 自分にとっての学習の意味を問い、意欲的に学習する
- ・ 自分の課題に自ら気づき、考え、追求して解決する
- ・ 自分の考えや学んだことを積極的に表現する

4 経営の方向性

(1) 篠原地区としての課題

篠原地区は一小学校・一中学校の校区であるため、小学校からの人間関係が固定化され、相互の性格等に対する認識も固定観念化している傾向にある。また、集団内での自他の性格等についても固定観念をもっている。そのため、自ら進んで新たな行動を起こすことや考えを表現することに、

ためらいや苦手意識をもつ生徒も少なくない。

(2) これまでの取組

現在、本校の生徒は全体的に穏やかであり、集団の雰囲気大切に、まとまりのある望ましい行動をとることができる。これは、本校伝統の縦割活動を中心とした集団活動の積み重ねの成果であると考えられる。集団と個のかかわりを考え、リーダーとして活躍が期待できる生徒の考えと教職員側の願いを十分に練り合ってから活動に取り組むことを心掛けてきた。その結果、生徒一人一人の成就感を高め、「自ら育とうとする生徒」を「成長を願う教職員」が支えるという望ましい学校体制が確立されてきた。また、生徒と教師の心理的な距離感が近づいたことにより、正しい生徒指導観に基づく指導が目に見える成果として表れている。これにより、トラブル等の未然防止・早期解決が可能な雰囲気が醸成されている。

(3) 成果と課題

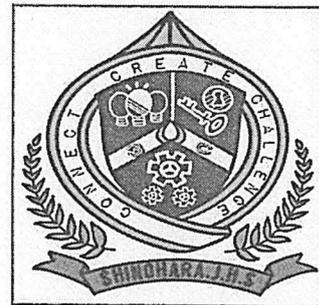
本校の教育課程には、学年や学校全体で取り組む集団活動を配置し、段階的に生徒に目標を与えることで教育活動を充実させる意図があり、一定の効果を発揮している。しかしながら、個々の生徒の表れからは課題も見られる。学校は集団活動を通して集団を鍛える場であるが、その本質は集団の中での『個の確立』にある。縦割り活動等集団で学んだことを個の成長に生かそうと考え、ここ数年、その年の重点をスローガンとして掲げ、取り組んできた。授業や学校行事、部活動等を通して生徒は確実に成長しているが、「キャリアプランニング能力」に関しては低い状態が続いており、本校の課題である。

5 スローガン 3C Challenge・Connect・Create

近年の校内アンケート調査や全国学力・学習状況調査の結果を分析すると、「自己理解・自己管理能力」の数値は高い傾向にある。しかし、「キャリアプランニング能力」が低い状態であることや「人間関係・社会形成能力」が低い生徒が増加傾向にあることが本校の課題である。

そこで、昨年度よりスローガンとして『3C Challenge・Connect・Create』を掲げ、学校教育目標の達成を目指す。これは、目標達成のためのキーワードである「共生(Connect)」、「自立(Challenge)」、「生きる力(Create)」の頭文字を取り『3C』とすることで生徒に課題意識をもたせ、成長を促すことをねらいとしている。

このスローガンのもと、教師はすべての教育活動を通して子供たち主体の活動を意図的に仕掛けていく。また、それぞれの活動自体が将来のための自分自身の財産となることを生徒各々に啓発していく。これらにより「キャリアプランニング能力」を向上させ、夢や希望をもち、自分らしさを大切にす



る子供の育成を目指す。

6 学校経営全体の基本方針

※教育課程全体でキャリア教育を核とした教育活動を展開する。

- ・人を大切にする力
- ・自分を大切にする力
- ・考える力
- ・チャレンジする力

【伝統の縦割り活動を中心とした学校づくり】

- ・MVG（最も価値のある集団）活動の推進
- ・縦割りを土台とした体育大会、怒濤祭
- ・学年経営の充実

【学び】

- ・基礎・基本の定着（生徒一人一人の興味関心や理解力等に「応じた分かる授業」の工夫）
- ・令和の日本型学校教育の実現（「主体的・対話的で深い学び」を実現するための「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化）
- ・協働的な学びの活性化と個々の考えの可視化による自己表現の支援としてのICTの有効活用（ミライシード、Google Workspace等の活用）
- ・プログラミング的思考の育成
（目的と過程を明確にし、効率的に問題解決する思考の育成）
- ・キャリア教育の視点での授業改善（将来を見通した、学ぶ意義や役割の明確化）
- ・一人一人の可能性を引き出し伸ばす「個別最適な学び」の充実
（全校体制での校内まなびの教室等の充実）

【心】

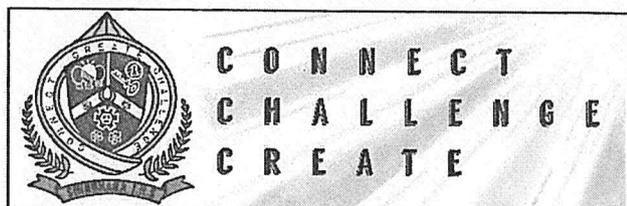
- ・自他の命を大切にする教育（「道徳教育の充実」を図り、人権を尊重する教育を推進）
- ・「いのち」を大切にする教育の推進
- ・コミュニケーションの基本である「あいさつ」の意識向上
- ・「学校いじめ防止基本方針」に基づくいじめの未然防止に取組強化
（早期発見の組織的な認知および迅速な対応の徹底）
- ・安全、安心で落ち着いた美しい環境づくり
（美しい心は美しい環境から…教育環境の整備、保健教育の充実、安全安心な給食指導）
- ・情報モラル教育の充実

【協働】

- ・生徒会や縦割りを中心とした自治活動
- ・ボランティア活動、環境活動の積極的な推進による、公共心や奉仕の精神の育成
- ・生徒が互いに認め合い高め合い、存在感と充実感がもてる集団（学級・学年・学校）づくり、リーダー・フォロワー教育の充実
- ・不登校、いじめ問題解消に向けた組織全体での取組（SCやSSW等の関係機関との連携）
- ・夢中になる部活動と、地域展開への架け橋づくり
- ・しのささ学習（総合的な学習の時間）の充実

7 目指す学校・教職員の姿

- ① 生徒にとって安心・安全で「明日も行くのが楽しみだ」と思える学校
 - ・生徒の思いや願いの重視
 - ・生徒に考えさせる指導の徹底（力に頼る生徒指導の根絶。不適切な言動や指導の有無に関する日常確認。）
 - ・「生徒が相談しやすい」好ましい人間関係の構築
 - ・いじめを絶対に許さない職員集団
- ② 保護者・地域に信頼され「学校と関わりたい」と思える学校
 - ・授業、学校行事等の「教育活動の積極的な公開」
 - ・CS（コミュニティスクール）を活用した「学びの支援や体験学習の推進、充実」
 - ・保護者・地域の方々の声に対する十分な聞き取りと誠意をもった丁寧な対応（所属、名前を名乗る等の丁寧な電話対応）
 - ・信用失墜行為、不祥事の根絶および発生させない環境づくり
- ③ 熱く、温かい教職員
 - ・生徒と向き合う時間の重視、個を大切にした集団づくり
 - ・生徒指導の組織的な冷静な対処
 - ・教師間の「報・連・相」の徹底と「3つのわ（和・話・輪）」の重視
 - ・学校に関わるどの職員に対しても思いやりをもつ
- ④ 令和の学校教育を意識した教員
 - ・ICTを活用した「主体的・対話的で深い学び」ができる授業実践
 - ・キャリア教育を意識した授業実践
 - ・生徒の自治的な活動を中心においた教育計画
 - ・『教職員SNSガイドライン』の厳守、さくら連絡網の活用
 - ・部活動の地域展開体制の構築
 - ・働き方改革推進による教職員のワーク・ライフ・バランスの充実





わたしたちに必要な 4つの力

(社会人になった時に求められる 資質・能力)

① 人を大切にする力 (人間関係形成・社会形成能力)

様々な人とつながる中で他の人の個性を理解したり、他の人に働きかけたりするコミュニケーションスキルや、チームワークをはかるのに欠かせないリーダーシップやフォロワーシップなどのことです。

- 友達や他学年と活動するとき、相手の考えや気持ちを受け止めようとする。
- 相手にわかりやすく伝えるように工夫しながら、自分の気持ちを整理して伝える。
- 集団の中で自分の役割や自分ができていることに気付き、進んで動いたり、協力して行動したりする。

○他者を尊重し話し合う力

② 自分を大切にする力 (自己理解・自己管理能力)

自己の役割の理解や、主体的な行動のための動機付け、物事を前向きに考える力や忍耐力、ストレスと上手に付き合う力のことです。また、これからの成長のために進んで学ぼうとする力です。

- 自分の好きなことや得意なこと、苦手なことや嫌いなことを整理して、自分の現在の姿を把握する。
- 気が進まない活動や気分が沈んでいる時でも、気持ちに流されずやるべきことを考えて取り組む。
- 苦手な場面や不得意なことでも、自分の成長を考えて進んで取り組む。

○信念をもって活動する力

③ 考える力 (課題対応能力)

情報の理解や選択、処理などの力、本質を理解したり原因を追究したりする力、課題を発見し、計画を立て、実行する力などです。

- わからないことやもっと知りたいことは、自分で情報を集めたり、他の人に進んで聞いたりする。
- 課題解決のための様々な方法を考え、よりよいやり方を選択して、解決しようとする。
- 先の見通しをもち、計画を立てて実行し、経験から気付いたことを生かして改善を試みる。

○計画を立て課題を解決する力

④ チャレンジする力 (キャリアプランニング能力)

学ぶことや働くことの意義や役割の理解、生き方の多様性の理解、将来を設計したり選択したりし、改善を繰り返しながら、いろいろなことに挑戦し行動していく力のことです。

- 自分の夢を実現するための方法を調べ、日々の生活や勉強の仕方を工夫する。
- 将来の自分の姿をイメージして学期や月ごとに具体的な目標を設定し、実現のための努力をする。
- 「学ぶこと」や「働くこと」の意義を考え、今学んでいることとのつながりを考える。

○学習内容を実生活と結びつけて学ぶ力

キャリア教育は、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく力をはぐくみます。大きくとらえると、授業や行事をはじめいろいろな活動を通して、これから社会の中で自分の人生を歩んでいくために必要な力を付けていくことです。

※この4つの力は相互に関連しています。



CONNECT
CHALLENGE
CREATE

★校区の目指す子ども像★

自信と活力にあふれ、進んで学びを求めていく子ども
家庭や地域に愛着を持ち、かかわりを大切にできる子ども

☆学校教育目標☆

共に理想を追求し、自己実現をめざす生徒



キャリア教育の4つの力

- ・人を大切にする力
- ・自分を大切にする力
- ・考える力
- ・チャレンジする力

本校のスローガン



生きる力
(Create)

- 自分らしさを大切にする
ことも
- 他者と協調し、主体的に
行動できることも
- 自己調整しながら
粘り強く取り組みむことも

自立
(Challenge)

共生
(Connect)

集団活動の充実(伝統の縦割り活動)

学び

- ・基礎基本の定着
- ・ICTの有効活用
- ・キャリア教育の視点での授業改善
- ・校内適応指導教室の充実
- ・令和の日本型学校教育の実現
- ・プログラミング的思考の育成

心

- ・道徳教育の充実
- ・「あいさつ」の意識向上
- ・「いのち」を大切に
する教育の推進
- ・学校いじめ防止基本方針
に基づく組織的な対応
- ・美しい環境づくり
- ・情報モラル教育の充実

協働

- ・生徒会や縦割りによる
自治活動の充実
- ・リーダー・フロンティア
教育の充実
- ・しのびの学習の充実
- ・SCやSSW等の関係機関
との連携
- ・夢中になる部活動と
地域移行への架け橋

生徒に寄り添う生徒指導
発達支援教育の理念を根幹とした教育

生徒・保護者・地域と学校の相互理解
～ 誰にとっても居心地のよい学校 ～
学校運営協議会との連携 部活動の地域移行

(様式2)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

委員名 ()

<本年度の目標>

- ・さくら連絡網やブログ、便りなどを通してコミュニティスクールに関する情報発信を様々な角度からすることで、保護者や地域への認知度を高める。
- ・地域人材を生かした事業の拡大（生き方講座・授業への人材活用）をしていく。
- ・部活動の地域移行について熟議をしながら、方向性を探っていく。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

- ※ 参考資料【熟議チェックシート】の評価項目1をもとに、振り返る。
- ※ 委員個人の評価ではなく、協議会としての視点で評価する。
- ※ 学校運営の基本方針（自校の学校教育目標や「育てたい力」等）について、協議した内容を簡潔に評価する。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

- ※ 参考資料【熟議チェックシート】の評価項目2をもとに、振り返る。
- ※ 委員個人の評価ではなく、協議会としての視点で評価する。
- ※ 成果・課題などを簡潔に記載する。方法論だけではなく、「育てたい力」や「目指す子供の姿」とのつながりをポイントにする。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

- ※ 協議会での協議結果（会議録への記載内容等）について、どんな方法による情報発信を行ったか、それによってどのような効果があったのか等を振り返って記載する。
- ※ 委員個人の評価ではなく、協議会としての視点で評価する。

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

- ※ 委員個人の目標ではなく、協議会の目標を記載する。
- ※ 学校運営協議会は、会議体であるため、会議体として相応しい目標を設定する。委員が、個人としてボランティア活動に参加することは想定されるが、学校運営協議会がボランティア活動の主体となることは想定していない。
- ★ 自己評価の結果については、学校ホームページで公表する。

【参考資料】

氏名 ()

【 熟議子エックシート 】

できている もう少し

評価項目 1		校長の説明を聞いて、分からない用語や疑問に感じたことを遠慮なく質問し、それに対して理解・納得できる回答が得られた。
		基本方針の承認にあたり、校長の説明を聞置くだけでなく、よりよい学校運営のために委員が建設的な意見を発言できた。
		委員が、学校教育目標や学校運営の基本方針についての内容を理解し、共有した。
		学校評価などの評価結果を生かした改善について確認した。
		学校運営について、委員が率直に意見を述べることができた。
評価項目 2		学校の教育目標と学校支援活動とのつながりを意識して、協議会で協議を重ねた。
		熟議の結果、学校、家庭、地域がそれぞれ実行すべきこと、役割分担が明確になった。
		これまで行われてきた学校支援活動についても、教育目標とのつながりや学校、家庭、地域の役割分担を考え、見直すことができた。
		協議会で決定し、実施した学校支援活動について、振り返りや反省を行った。

令和8年1月26日

学校運営協議会委員 各位

浜松市立篠原中学校
校長 内山 安史

学校運営協議会委員研修会（オンライン）の開催について（御案内）

日頃は、浜松市の教育に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、学校運営協議会委員及び来年度新規委員候補となる方等を対象に、下記のとおり研修会を開催いたします。ぜひ御参加をお願いいたします。

記

- 1 目的 学校運営協議会委員のコミュニティ・スクールに対する理解を深め、学校と地域が連携・協働しながら子供たちを育む意識を高める。
- 2 日時 令和8年2月25日（水） 午後2時から午後3時30分
- 3 会場 浜松市立篠原中学校 南校舎2階 多目的室
- 4 方法 オンライン受講（Zoomによるライブ配信）
- 5 対象者 学校運営協議会委員・来年度新規委員候補者等
- 6 内容
 - (1) 趣旨説明 浜松市教育委員会 学校・地域連携課 地域連携グループ
 - (2) 講話 「学校運営協議会の活用と学校課題の解決」
講師 文部科学省CSマイスター、ふくしま学校と地域の未来研究所 安齋 宏之 氏
概要 ・学校運営協議会の役割と仕組
・学校・地域が協働する取組事例の紹介 等
- 7 その他
 - (1) 筆記用具を御準備ください。
 - (2) 当日の資料は、会場にてお渡します。
 - (3) 本件に関して御不明な点がございましたら、担当まで御連絡ください。

浜松市立篠原中学校 担当 鈴木 一輝 電話 053-447-2109
--